

性的マイノリティに関する取り組みの評価指標 「PRIDE 指標 2024」において「ゴールド」を6年連続で受賞

ヤマハ株式会社は、任意団体「work with Pride」が策定する企業・団体などにおけるLGBTQ+^{※1}などの性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標^{※2}2024」で最高位「ゴールド」を6年連続で受賞いたしました。

ヤマハグループは、人材の多様性を新たな価値創出の源泉と考え、それぞれの個性を尊重し、活かしていくことで、さらなる企業競争力の強化・成長・発展を目指しています。

その一環として、性的マイノリティ当事者が働きやすい環境づくりや、多様性を尊重した企業活動を行うため、LGBTQ+への理解や支援の取り組みを進めています。これまで、LGBTQ+に関する全社セミナーの開催やLGBTQ+ロゴの制定、LGBTQ+のAlly（支援者）であることを表明するステッカーの配布、職場における理解促進ツールの作成などを通じて社内への理解促進に努め、さらに、LGBTQ+相談窓口の運用、社内制度においては、家族の定義に同性パートナーやその子を含めるなど、仕組みの整備を進めてきました。

今年も2年連続で、4月に代々木公園で開催されたアジア最大級のLGBTQ+関連イベント「東京レインボープライド 2024」にブースを出展しました。この活動は「インクルーシブな職場づくりをさらに推進し、ともに働くLGBTQ+コミュニティの仲間たちにとって、より安全な場所を自分たちの手でつくっていききたい」そんな思いから、人事部と有志の従業員25名によるボランティアチームで企画運営をしました。また、世界各地でLGBTQ+の権利を啓発する活動・イベントが実施されるPRIDE月間である6月には、「Sound and Music is for Everyone」をテーマにLGBTQ+当事者アーティストのストーリーを発信しました。

当社は今後もLGBTQ+への一層の理解を含むDE&Iの促進に取り組み、多様な人材一人ひとりの個性を生かす風土づくりに努めてまいります。



「PRIDE 指標」の「ゴールド」マーク



「ヤマハLGBTQ+」ロゴ



「東京レインボープライド 2024」に参加しブースを出展したメンバー

※1 LGBTQ+とは、Lesbian（レズビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシャル）、Transgender（トランスジェンダー）、Questioning（クエスチョニング）/Queer（クィア）の頭文字を取った、性的マイノリティ（少数派）を表す総称。なお、+（プラス）はそれ以外の性を表す表現。

※2 PRIDE 指標とは、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が2016年に策定した、日本で初めてとなるLGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標。「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度/プログラム」「社会貢献/渉外活動」の5つの指標で採点され、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」として認定される。

* 「work with Pride」ウェブサイト：

<https://workwithpride.jp/>

* ヤマハグループのダイバーシティの推進とインクルージョンについて

https://www.yamaha.com/ja/csr/diversity_equity_inclusion/

■ この件に関するお問い合わせ先：

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 佐藤歩 Tel. 053-460-2210